

【漢方薬】

強 腰 冷 散

◆ 強腰冷(ヨウレイ)散^{きんきようりやく}は金匱要略という書物に書かれている処方をもとにした漢方薬の散剤です。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。

むくみ

(6) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

(2) 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

効能・効果

腰痛、坐骨神経痛

用法・用量

次の量を食前又は食間^{注)}に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

^{注)}「食間」とは食後2～3時間を指します。

年 齢	1回量		1日服用回数
	容器入りの場合	分包品の場合	
大 人	1.5g(添付のサジ1.5杯)	1包	3回
10歳以上15歳未満	大人の2/3の量(1.0 g)	2/3包	
5歳以上10歳未満	大人の1/2の量(0.75g)	1/2包	
5歳未満	大人の1/3の量(0.5 g)	1/3包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。
- (4) 生後3ヵ月未満の乳児には服用させないこと。

成分・分量

本剤4.5g又は3包中

ソウジュツエキス…………… 0.723mL(固形物として0.074g)

ソウジュツ……………1.453g } エキス……………1.675mL(固形物として0.066g)
カンキョウ……………2.907g }

カンゾウ末……………1.453g

ブクリョウ末……………2.907g

- ・本剤は淡褐色で、特異なにおいを有し、味は甘い散剤です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 分包品において1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

強腰冷散は漢薬の特性を活かした漢方薬ですので、あなたの体質や病状を考慮して正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、漢方薬のことをご理解いただいている医師・薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田515番地1